

インドネシアから



New

地域を変える

# POWER!!

地域おこし協力隊 ユディカ エルギヤントさん



APAKABARI

初めまして！4月から地域おこし協力隊員として肝付町で活動する事になりました、ユディカ エルギヤントと申します。

私が初めて岸良を訪れたのは友人の紹介でした。

岸良の方々の親切、自然の美しさを知りここに住みたいと思いました。

子どもも小学校にすぐに馴染み、ここに通いたいと言っていますので移住するなら岸良にと思っています。

私はインドネシアから日本に来て6年になります。

これまでに外国人の友人やお客様を自宅に招き文化

交流をして参りました。

そしてインドネシア人の友人との交流も盛んです。

外国人のお客様方は日本の文化、自然の美しさに大変興味がありますので、肝付町の伝統行事及び自然の美しさを知ってもらいたいと考えています。

また肝付町で働くインドネシア人のサポートも行って、肝付町における人手不足の解消に貢献出来ればと思っています。

南国有機野菜やハーブを育ててインドネシア料理の開発をしたいと思っています。

皆さん今後ともどうぞよろしくお願いたします。



▲ 兄と見た思い出のテコテン桜



李 京和 (イ キョンファ)  
地域おこし協力隊として活動中。韓国語講座や韓国料理教室などを行っている。

## 京和の (兄との思い出編) お国自慢



肝付町は年中、草花があふれ、季節の移り変わりがソウルと違っていますが、やはり桜が咲き始めると春の訪れを感じます。2月初旬に濃いピンクの花が咲くロケット桜、二階堂邸前の高山川沿いや高山温泉ドームの桜が次々に咲き誇り、花見のピークを迎えます。

肝付町の桜の名所の中で私にとって一番特別な場所は、岸良のテコテン桜です。私が肝付町に初めて来たのは、4年前の2018年3月でした。兄が内之浦に住むようになって会いに来たのです。そんなある日、兄が「岸良の山の中に巨大な桜の木があるから見に行こう」と言いました。兄も初めてで道も分からず、

迷いながら到着したテコテン桜はまぶしいほど美しかったです。兄と甥たちと持った行ったおにぎりを食べながら花見をし、帰りに高田の滝の駐車場に用意されたメッセージボードに兄は「来年もまた見に来る事が出来るように願います。」という希望を書きました。その1カ月後、兄は亡くなってその夢は叶えられませんでした。代わりに私が毎年テコテン桜を見に行っています。特に今年のテコテン桜は兄と一緒に見たあの時と似ていて、私は木の周りをずっと歩きました。今年が地域おこし協力隊員として最後の年ですが、このような大切な場所と思い出をたくさん残す年となる事を願います。

残す年となる事を願います。